労山愛知

愛知県勤労者山岳連盟機関紙

２０１６年１月２２日発行

Ｎｏ．５１８（第４７期１１号）

〒454-0055

名古屋市中川区十番町 2-8

栄和産業(株)ビル 2F

TEL/FAX　052-654-1210

http://aichirousan.web.fc2.com/

1/16･17 氷雪実技講習会実技を実施しました

2016 年 1 月 16 日から 17 日にかけて、昨年末、積雪がないため延期された県連の氷雪技術講習会の実技が、西穂山荘周辺で実施されました。

当初、年末の実技への参加を予定していた受講者やコーチ陣も諸事情で入れ替わりがあり、最終的に受講者 7 名(5 山岳会)、コーチングスタッフ 5 名(4 山岳会)、計 11 名とこじんまりとした規模になりましたが、天候にも恵まれ、本格的な冬山の入り口に立つことのできた実技になりました。

16 日、曇り時々晴れ。新穂高温泉から西穂山荘に入り設営し。午後から小屋前の斜面でラッセル、雪上歩行、確保（スタカット）、滑落の自己停止などの実技を繰り返し行いました。

17 日。晴れのち曇り。丸山まで往復。真っ青な空の下、正面には足元から独標、西穂高岳に連なる北アルプスの峰々、左手には笠ケ岳とそれに連なる峰、右手には霞沢岳、六百山、遥か雲海の向こうに富士山…さえぎるもののない眺望が広がりましたが、風が強く、この天気も午後から崩れるという予測で、稜線での行動はここまで。強い風と寒気の冬の稜線の洗礼は、受講者にとって強烈な冬山の実体験として印象に残ったようです。西穂山荘の戻り、前日訓練を行った斜面で、再び滑落の自己停止の反復練習を行った後、雪のブロックの切り出し方、ブロックの積み方などのスノー・クラフトや簡単な雪層観察などを行なって撤収・下山してきました。

≪目　次≫

教育部	1/16・17　氷雪技術講習会実技を実施しました	1
巻頭言	自分たちの登山の在り方、方向を考える季節	2
理事会	愛知県勤労者山岳連盟第 48 回定期総会招請状	3
遭対部	1 月 29 日　第 5 回遭対担当者会議を開きます	
	1 月 15 日、冬山合宿遭対報告会議を開きました	4
婦人部	2016 年 1 月 7 日　第 9 回女性のつどい	5
組織部	持続的な「プラス１」の取り組みで総会を／組織数推移(2015.10～12 末)	6
	200 万人署名に取り組んでください	7
	ＳＣＨＥＤＵＬＥ	8

巻頭言　自分たちの登山の在り方、方向を考える季節

愛知県勤労者山岳連盟　会長・理事長　　洞井孝雄

あけましておめでとうございます。

2015年は、わが国の民主主義、立憲主義、平和主義が安倍政権の暴走によって蹂躙された痛恨の年でしたが、一方では、こうした情勢を自分たちで何とかしたい、という幅広い国民の「一人ひとり」が意思表明を行い、そうした動きが大きな流れを作った年でもありました。今年こそは、そうした流れが大きなうねりを作り出し、憲法違反の安保関連法の廃止、集団的自衛権を容認した閣議決定の撤回を実現し、真に平和だと思える年にしていきたいものです。

昨年末、野党の臨時国会開会要求を無視し、今年召集された通常国会では与野党の論争は全くかみ合わず、安倍政権の暴走は、いっそう速度を増してきています。ＴＰＰ、原発再開、沖縄の基地建設の動きは裏側で着々と進みつつあります。台湾で、民進党の蔡英文主席が総統に選出されましたが、これは現政権の中国への急接近に危機感をおぼえた国民がブレーキをかけたということでしょう。同日、沖縄では宜野湾市長選挙が告示されましたが、「代理対決」といわれるように、陰から現政権が支援する現職と基地建設反対を訴える新候補の選挙になっています。台湾のように「民主主義」が機能し、オール沖縄の民意が表わされることを期待したいものです。

さて、年が明けて、県連の行事が目白押しです。1月16日・17日は年末に延期された氷雪技術講習会の実技が西穂山荘周辺で実施されました。年末に雪不足を嘆いていた冬山ですが、この時期に入って、少しずつ冬山らしさが感じられるようになってきました。翌週の23日・24日は東海ブロックの雪崩講習会の実技が御岳周辺で実施されます。さらに、25日には積雪期救助訓練の机上講座が、31日には実技が実施される予定になっています。今年は、これからが本格的な冬山になりそうです。まだ、今シーズン、冬の寒気や積雪に慣れていない仲間たちも多いことと思います。低体温症、凍傷、転・滑落、その他さまざまな要因に十分に注意をし、事故のない冬山・雪山を楽しんでいただきたいと思います。もちろん、アプローチでの交通事故も含めて。

2月には二年に一度の全国総会が開かれます。県連でも3月の第一週に予定されている第48回定期総会に向けての準備が始まります。前年に比して、事故が多発しています。なぜ事故が起きるか、どうしたら防げるか、が大きな課題になります。最盛時の1500名に、と目標を掲げて取り組んできた組織拡大は一進一退。急伸した会もあれば、会の存続が心配される会もあります。組織のこれからについてみんなで考えなければなりません。婦人部の取り組みもひとつひとつが女性会員のネットワークづくりにどう働いているかを検証しながら進める必要があります。春と秋の清掃登山についてもこれまでの総括と現状に立って、取り組み基盤を確認し直す時期に来ているといえます。目的と位置づけを明確にした外来植物駆除の取り組みも課題になってきています。組織内外の登山者教育の必要性や具体的な進め方についても一定の方向を提起していく時期になってきているようです。県連の役員選出についても一昨年の各会代表者会議以来、課題になってきましたが、今回の総会では、各加盟山岳会が愛知県連盟を運営していく責任や意識の在り方を大前提とした改革の方向性や規約改定のスケジュールなどが示される予定になっています。

課題は山積していますが、私たちの登山をどう発展させていくか、を考える大事な総会です。

各会でも 2015 年度一年間の活動を振り返り、その上に立ってどう会を運営していくかを決める総会の準備の時期。新年にあたって、自分たちの登山の在り方、方向をじっくり考える季節です。

2016年3月6日は愛知県連第48回定期総会です。

各会とも代議員の選出と、県連総会議案（2月下旬に配布予定）の討論をお願いします。

2016年1月22日

各　　位

愛知県勤労者山岳連盟
会長　　洞井　孝雄

県連第48回定期総会の開催について（招請）

毎日の活動ご苦労様です。

愛知県勤労者山岳連盟規約第7条第1項に基づき、下記のとおり定期総会を開催します。

第47期の活動総括と、第48期の活動方針を決定する大事な総会です。

ご多用の折ですが、各加盟団体とも万障繰り合わせのうえ、ご出席くださるよう、招請します。

記

愛知県勤労者山岳連盟第48回定期総会

▲と　き　　2016年3月6日(日)午前9時30分～午後5時

▲ところ　　愛知県勤労者山岳連盟事務所(名古屋市中川区十番町2-8
栄和産業(株)ビル２Ｆ）

▲対　象　　県連加盟山岳会選出の代議員（会員30名につき1名、端数切り上げ）
および県連役員、理事（役員、理事は代議員にはなれません）

▲議　題　　①第47期県連活動の総括および第48期方針について
②第47期決算について
③第48期予算について
④第48期役員選挙について
⑤その他

以上

遭対部

1月29日(金)　第5回遭対担当者会議を開きます

2016年1月29日(金)、19：30から、**県連事務所で**遭対担当者会議を開きます。

議題は、今期の活動総括、事故報告、その他です。前年に比して、事故が頻発しています。なぜ、事故が起こるか、どうしたら防げるかが喫緊の課題になっています。それらを振り返り、次期県連総会を前に遭対部の方針にまとめていく大事な会議です。

担当者（または、代理の方）は万障繰り合わせの上必ず出席して下さい。

本格的な冬山の合宿にはほど遠く…

1 月 15 日　冬合宿遭対報告会議を開きました

2016 年 1 月 15 日(金)19：30 から、冬合宿遭対報告会議が開かれました。

【出席者】小栗・洞井（半田 F)、山口・斉藤・水越・林（同志会)、阿賀谷・石井（東三河)、望月（ふわく)、千田（スルジェ)、森島（ありんこ)、西尾（くらら)、甲斐・嶋村・中村（あつた)、祖父江（じねんじょ）の 9 山岳会 16 名が出席しました。

合宿を実施したのは 7 山岳会 13 パーティー。2 山岳会 3 パーティーが天候その他の事情で中止しました。全般的に雪に恵まれない冬合宿であったようです。

会議では報告と合わせて、以下のような問題点、反省点等が出されました。

△ケガ人が出て、要請した救助ヘリを待っているパーティとであった。ケガ人はツエルトをかぶっていたが詳細は不明。出席者の中から保温、加温などがなされず長時間の待機になると、ケガ人は低体温症になる危険性があるとの意見があった。

△テント設営時（－10℃）で、体調不良（低体温症？）になりかけたメンバーが出た。原因については不明だが、男子が設営している最中、女子は作業に加わらず動かなかったことが理由のように思われる、という報告に、みんなで設営している際に、「手持ち無沙汰」という状況が容認されていること自体が問題ではないか、という指摘があった。

ヒヤリハットの面では

△ザックに着けておいたピッケルの紛失。装着の不備が原因と思われる。

△登攀中、カムを落とし紛失。

△4 人パーティを 2 チームに分け行動。一方のチームが強風と疲労から別の小屋に宿泊、他方のチームとは無線とケイタイで連絡した。

△歩行中のスリップ、踏み跡の細い場所でアイゼン引っ掛けてつまずいた、新雪に踏み込みバランスを崩し転倒、ハイマツ上の雪を踏み抜き、山荘の階段でスリップ。

△アイスクライミングの際、ロープが凍って、タイブロック内側の凹凸が氷で埋まり制動が効かなくなっている事に気づき、フィクスロープによるクライミングを中止した。

洞井会長のまとめで会議を終わりました。

今期の冬合宿は、例年のような冬とはいえない条件で、実際上、冬合宿をやっていない状態だといってもいい。今期の報告でも、雪が少なくてラッセルも苦労なし、この季節に、いつもだったら登れない、この気象条件だったから登れたという山もある。やっと今頃になって、雪が来たというニュースが出始めた。これから 2 月に向かって本当に厳冬期らしい天候になるかもしれないが、十分、慎重に山を選んで合宿の不足を補って欲しい。

余談だが、今月発行された『山と渓谷』2 月号では、「あなたも危ない！すぐそこにある山の遭難　体力不足、道迷い、楽観主義。昨今の『遭難三大誘因』を探る。」が特集されている。事故のたびに、今まで言ってきたことと重なるが、なかなか読み応えがある。道迷いのところでは「鈴鹿山脈・御池岳の謎」の記事もあって興味深い。冬山だけのことではなく、山全般の遭難を考える特集だが、参考にしてほしい。

第 47 期冬山合宿報告一覧

山　岳　会		山　域	コ　ー　ス	日　程	人数
あつた勤労者山岳会	B	八ヶ岳	美濃戸口～赤岳鉱泉～赤岩の頭～硫黄岳　往復	1/10~11	4
	C	南ア	戸台～長衛小屋～仙水峠～甲斐駒ヶ岳　往復	1/9~11	8
じねんじょ山の会		八ヶ岳	美濃戸口～赤岳鉱泉～赤岩の頭～硫黄岳　往復	12/12~13	10
名古屋ありんこ山岳会		南ア	御座石温泉～鳳凰小屋～地蔵岳　往復	1/9~10	7
名古屋山岳同志会	B	北ア	新穂高～白出沢～蒲田富士～奥穂高岳　往復	12/29~1/1	4
	C	八ヶ岳	美濃戸～行者小屋～南稜～赤岳～行者小屋～阿弥陀岳～美濃戸	1/9~11	4
	D	八ヶ岳	美濃戸～行者小屋～赤岳 A（～硫黄岳 B）～美濃戸	1/9~11	10
	E	八ヶ岳	美濃戸～行者小屋～赤岳　往復	1/9~11	8
半田ファミリー山の会		南ア	竹宇駒ヶ岳神社～黒戸尾根～甲斐駒ヶ岳　往復	1/9~10	5
東三河山ぽ会	C	北ア	西穂高駅～西穂山荘～西穂丸山　往復	1/9~11	7
	D	北ア	中の湯～焼岳北峰　往復	1/9~10	5
	E	八ヶ岳	美濃戸～赤岳鉱泉～ｼﾞｮｰｺﾞ沢～美濃戸	1/9~11	3
若駒山岳会		北ア	中の湯～西尾根～霞沢岳～徳本峠～上高地	12/29~31	3

婦人部

2016 年 1 月 7 日　　第 9 回女性のつどい

1 月 7 日(木)19 時から県連事務所において、第 9 回女性のつどいを開きました。
木村(あつた)、河村(春日井)、西尾(くらら)、小川(スルジェ)、二宮(みどり)、辻村(ふわく) の 6 山岳会 6 名が出席しました。

議題は「47 期婦人部の総括と 48 期の基本方針」について。第一回から第八回までの女性のつどいについて振り返り、反省点や問題点などを話し合いました。

2 月 4 日(木)　第 10 回女性のつどい　**一緒に手打ちそばを！**

2 月 4 日に予定されている第 47 期最後の女性の集い。例年好評な手打ち蕎麦体験の機会を今年も作ります。蕎麦名人(ふわくの堀さん)や自分で打ったそばをいただきましょう。一年を振り返って、楽しかったことや来期の方針も話し合いたいと思います。どなたも大歓迎！！

とき・ところ：2 月 4 日 18:00～21:00　名古屋市東区生涯学習センター
参　加　費　：1,300 円
申　　込：各理事又は婦人部担当まで（締切は 1 月 29 日(金)までとします)。

組織部

持続的な「プラス１」の取り組みで総会を迎えましょう

2015 年 12 月末の会員数は 1177 名で、昨年 3 月の県連盟総会時比較で 37 人、前年 12 月末比で 28 人の増加となっています。

しかしながら、加盟山岳会のうち半分の会が会員減になっています。3 月 6 日の第 48 回県連総会まで残すところ一カ月余となりました。各会とも、「現状から１名以上仲間を増やそう」という「プラス１」の取り組みを持続的に意識的に追求して総会を迎えるようにしましょう。

県連盟組織数推移（2015. 10～12）

加盟団体	15 年 10 月末現在 在籍会員数			11 月末現在 在籍会員数			12 月末現在 在籍会員数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
あつた勤労者山岳会	34	32	66	34	32	66	34	32	66
アリス山の会	3	4	7	3	4	7	3	4	7
犬山勤労者山の会マップ	19	29	48	19	29	48	19	30	49
おやこ山の会	3	6	9	1	4	5	1	4	5
春日井峠の会	22	20	42	24	20	44	24	21	45
かわせみ山楽会	6	1	7	6	1	7	6	1	7
じねんじょ山の会	31	27	58	31	27	58	30	28	58
スルジェ山の会	16	17	33	17	18	35	18	19	37
ちんぐるま	5	0	5	5	0	5	5	0	5
東海山岳会	27	8	35	27	8	35	27	8	35
名古屋ありんこ山岳会	20	15	35	20	15	35	20	15	35
名古屋 ASC	22	13	35	22	13	35	22	13	35
名古屋山岳同志会	63	49	112	65	48	113	66	48	112
名古屋山歩会	15	7	22	15	7	22	15	7	22
半田ファミリー山の会	37	46	83	37	47	84	37	47	84
東三河山ぽ会	89	92	181	89	93	182	90	95	185
低い山を楽しむ会	8	6	14	8	6	14	8	6	14
ふわく山の会	122	127	249	122	129	2	122	130	252
みどり山の会	1O	23	33	10	23	33	11	23	34
山の会「くらら」	44	33	77	44	33	77	42	28	70
若駒山岳会	11	9	20	11	9	20	11	9	20
合計	607	564	1171	610	566	1176	611	566	1177

「登山時報」読者が３１名増えました

労山の機関誌『登山時報』を通して全国２万人の仲間とつながり、視野をひろげて活動を発展させよう、すべての会で普及・拡大を、昨年暮れから各会に呼びかけてきました。2015 年 12 月

発行の『登山時報』１月号の愛知県連の読者数は 108 人、一年前と比較すると 31 人の増加となりました。購読を進める呼びかけに、いくつかの会が応えて取り組んだ結果ですが、購読数が増えたのは５山岳会のみで、山岳会によっては一部も有料購読のない会もあります。愛知県連の購読者数は会員比 9.2%で、全国の購読者の会員比率 13%と比較しても低く、いかにこれまで低水準の購読率だったかがわかります。『登山時報』だけの問題ではありませんが、また、その会の体質にもよりますが、情報の共有や会同士の交流の少ない会は、組織数や様々な取り組みの面でも後退しているように思われます。登山者自身を取り巻く状況や、登山界の現状をつかみながら、登山活動を進めましょう。一層の『登山時報』購読をすすめる取り組みをお願いします。

山岳会名	①	②	③	④	⑤	山岳会名	①	②	③	④	⑤
あつた	6	7	1	66	10.6	山歩会	0	0	0	22	0
おやこ	0	0	0	5	0	低い山	0	0	0	14	0
マップ	5	5	0	49	10.2	ありんこ	0	0	0	35	0
アリス	1	1	0	7	14.3	ＡＳＣ	0	0	0	35	0
春日井	10	9	−1	45	2.0	ふわく	11	8	−3	252	3.2
かわせみ	0	0	0	7	0	半田Ｆ	20	22	2	84	26.2
じねんじょ	9	9	0	58	15.5	東三河	4	19	15	185	10.3
スルジェ	6	13	7	37	35.1	みどり	2	2	0	34	5.9
東海	1	1	0	35	2.9	若駒	0	0	0	20	0
ちんぐるま	1	1	0	5	2.0	くらら	0	10	10	70	14.3
同志会	1	1	0	112	0.9	県連合計	77	108	31	1177	9.2

[注]　①2015 年 1 月号／②2016 年 1 月号／③①～②増減／④2015 年 12 月末会員数／⑤購読率

２０００万人署名に取り組んでください

昨年 9 月 19 日に「安保法」が与党によって強行「成立」させられました。11 月には法成立に反対した団体が共同して「戦争法の廃止を求める統一署名」を始めています。この署名の請願事項は、8 月 25 日に出された労山の「憲法 9 条を守って戦争しない日本を継続させ、登山文化を守るための声明」の労山全国連盟の主張に沿うものとして、12 月には全国連盟理事会から署名に取り組む協力要請がだされました。

これを受けて、1 月 8 日に開かれ県連理事会では「平和であってこその登山」との立場から賛同できるものであり、各会に署名活動への協力を呼びかけることを決めました。

「戦争させない・９条壊すな！総がかり実行委員会」から呼びかけられている請願内容は、

一、戦争法である「平和安全保障関連法」を速やかに廃止して下さい

一、立憲主義の原則を堅持し、憲法９条を守り、活かしてください

の二項目です。２０００万人から署名を集めようという大きな取り組みです。

ぜひとも、署名活動にご協力ください。署名用紙は各会の理事・代表者・窓口となっている方に、メールでデータが送付してあります。各会でプリントアウト、マス・プリして署名を集め、集まり次第、下記まで、直接郵送してください。

〒101-0063　東京都千代田区神田淡路町 1-15　塚崎ビル 3F
「戦争をさせない・9 条壊すな！　総がかり行動実行委員会」

Schedule 2016.1～3

2016年1月			2月			3月		
1	金		1	月		1	火	
2	土		2	火		2	水	
3	日		3	水		3	木	
4	月		4	木	女性のつどい⑩	4	金	理事会 27
5	火		5	金	理事会 23	5	土	
6	水	教育担当者会議⑦	6	土		6	日	県連第28回定期総会
7	木	女性のつどい⑨	7	日		7	月	
8	金	理事会 21	8	月		8	火	
9	土		9	火		9	水	
10	日		10	水		10	木	
11	月		11	木	組織担当者会議⑦	11	金	
12	火		12	金	理事会 24	12	土	
13	水		13	土		13	日	
14	木	自然保護担当者会議	14	日		14	月	
15	金	冬合宿遭対報告会議	15	月		15	火	
16	土	↑氷雪技術講習会	16	火		16	水	
17	日	↓実技(西穂周辺)	17	水		17	木	
18	月	登山学校コーチ会議	18	木		18	金	
19	火		19	金	理事会 25	19	土	
20	水		20	土	↑　全国総会	20	日	
21	木	組織担当者会議⑥	21	日	↓　　(東京)	21	月	
22	金	理事会 22	22	月		22	火	
23	土	↑東海Ｂ．雪崩講習	23	火		23	水	
24	日	↓　会（御岳周辺）	24	水		24	木	
25	月	積雪期救助訓練机上	25	木		25	金	
26	火		26	金	理事会 26	26	土	
27	水		27	土		27	日	
28	木	教育担当者会議⑧	28	日		28	月	
29	金	遭対担当者会議⑤	29	月		29	火	
30	土					30	水	
31	日	積雪期救助訓練実技				31	木	

ご意見、ご用望・投稿などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

http://aichirousan.web.fc2.com/　　e-mail:aichirousan@gmail.com

▲軽井沢のスキーツアー大型バス転落事故、ココイチの廃棄ビーフカツ流通…、新年早々、つらい話題が続く▲インフルエンザではないらしいが風邪につかまってしまった。あ～鼻が詰まる